

言葉の力 「自分が立っている所を深く掘れ。そこからきっと泉が湧きでる」(高山樗牛)

松陽便り 第261号

取手松陽高校美術科展の御礼

12月4日(火)から9日(日)まで、茨城県つくば美術館において、第22回取手松陽高校美術科展を開催しました。

この展覧会は、本校美術科生徒の3年間の教育内容と日々の創作活動の成果を地域の方々に知っていただくことと、作品発表の場をとおして、生徒一人一人が積極的に学習や表現活動に取り組むための新たな機会とすることを目的として、毎年開催しています。

授業で制作した油彩画、日本画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザインなど、さまざまなジャンルの卒業制作を含む生徒作品と職員作品が展示されました。[出品者数：104人、出品点数：1年個人・授業作品 約80点、2年専攻・副専攻作品 約60点、3年卒業制作作品 約30点、教員・卒業生作品 19点、他 素描 20点 計 約210点]

おかげさまで、本美術科展は、生徒一人一人にとって意義深く、成長の証を示す機会となりました。1,300名を超える皆さまにご来場いただきましてありがとうございます。また、最終日の午後は、関連イベントとして本校音楽科のミニコンサートも開催し、多数の方々に演奏を聴いていただきました。重ねて御礼申し上げます。



茨城県つくば美術館

入口は取手松陽高校
美術科紹介コーナー
次からは3年生作品コーナー





3年生の自画像です。



第42回信州総文祭出品

伊藤 ^{のあ} 夢絵
『花様年華』(アクリル画)

大竹 ^{そふいあ} 爽風杏
『マリーゴールド』(七宝工芸)





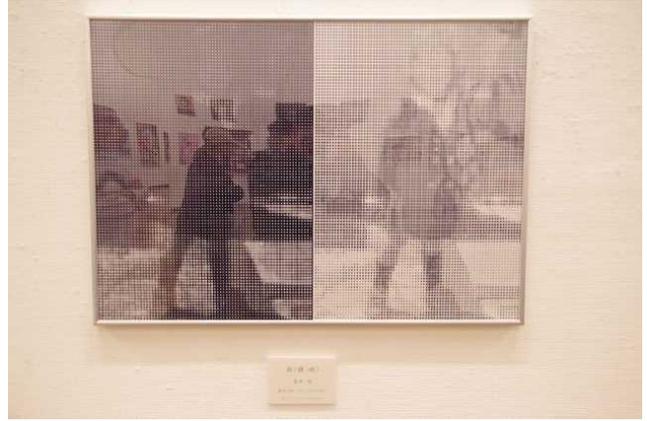


ここまで2年生，1年生の作品



ここからは先生方・卒業生の作品展示





最終日、音楽科のミニコンサート

たくさんの方々にご来館いただきました。



音楽科の皆さんに美術科からお礼の品が渡されました。